

2024年7月16日

報道機関 各位

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）治療薬 ゾコーバ（エンシトレルビル フマル酸）の有意义的入院抑制効果を確認



ゾコーバ錠 画像：塩野義製薬株式会社提供

ポイント

- ・ゾコーバ（エンシトレルビル フマル酸）の COVID-19 入院抑制効果により、重症化リスク因子を有する患者に対する効果的な治療薬であることが示唆された、新たな結果を発表

概要

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 呼吸器内科学分野の迎寛教授が、塩野義製薬株式会社との共同研究において、研究代表者として関与し、新型コロナウイルス感染症治療薬「ゾコーバ（エンシトレルビル フマル酸）」について、有意的入院抑制効果を確認しました。

このことは、2024年6月27日～29日に日本で開催された第98回日本感染症学会学術講演会／第72回日本化学療法学会総会 合同学会において発表しました。

研究内容

JMDC データベースを用いた「ゾコーバ（エンシトレルビル フマル酸）」の COVID-19 重症化抑制効果の検討

上記学会で発表したのは、大規模レセプトデータベース（JMDC）を用いた、「ゾコーバ」の COVID-19 重症化抑制効果を検討した内容です。

本臨床研究では、重症化リスク因子を有する 18 歳以上の COVID-19 外来患者 167,310 名を対象に、「ゾコーバ」の COVID-19 重症化抑制効果を評価しました。主要評価項目である理由を問わない入院イベントに関して、エンシトレルビル群は対症療法群と比較して、約 37%入院リスクが減少し、統計学的に有意に入院イベントを抑制しました。

この結果から、「ゾコーバ」が COVID-19 重症化抑制効果を有し、重症化リスク因子を有する患者に対する効果的な治療薬であることが示唆されました。

臨床研究を実施した長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 呼吸器内科学分野の迎寛教授のコメント

「昨今、COVID-19の主流株はオミクロン株になり、重症化率は低下したものの、高齢者を中心に重症化し、入院に至る患者さまがまだまだおられます。本研究では、オミクロン株流行期の実臨床のデータを用いて、エンシトレルビルの有意な入院抑制効果を確認しました。優れた抗ウイルス効果を有するエンシトレルビルを、重症化リスク因子を有する患者に早期投与することで、COVID-19による入院を抑制することが期待されます。」

なお、本結果に関する論文は、国際的な査読付学術誌「Infectious Diseases and Therapy」に掲載されました。

掲載 URL : <https://link.springer.com/article/10.1007/s40121-024-01010-4>



掲載ページ
(English)

関連教員紹介

所 属 : 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科
展開医療科学講座 呼吸器内科学分野 (第二内科) 教授

氏 名 : 迎 寛 (むかえ ひろし)

出身大学 : 長崎大学医学部

専門分野 : 呼吸器疾患 (びまん性肺疾患、感染症)

紹介ページ : https://www.med.nagasaki-u.ac.jp/intmed-2/pulmonology/staff_mukae.html



呼吸器内科 HP

所 属 : 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科
臨床感染症学 准教授 (長崎大学病院 呼吸器内科)

氏 名 : 高園 貴弘 (たかその たかひろ)

出身大学 : 長崎大学医学部

専門分野 : 呼吸器疾患 (感染症)

紹介ページ : https://www.med.nagasaki-u.ac.jp/intmed-2/pulmonology/staff_2.html#takazono



呼吸器内科 HP

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学病院総務課 (広報・評価) 坂本

TEL:095-819-7790 MAIL : mhweb@ml.nagasaki-u.ac.jp